

多治見市中心市街地活性化基本計画
2023.4～2028.3

多治見市経済部産業観光課

1. この本のこと。

この本は
多治見のまちなかについて
こんな未来にしたい。
こんな風に過ごせたら楽しい。
こんな問題は解決してほしい。

そんな未来への期待を実現するための
わかりやすい説明書のようなものです。

これまでの計画は関係者のためにありました。
今度の計画はたくさんの人に
読んでもらって、知ってもらって
一緒にまちをつくる人になってほしいという
願いを込めています。

小さな行動がまちを変えます。
楽しい多治見の未来を、一緒に描きましょう

目次

- 0. 表紙
- 1. この本のこと P2
- 2. なぜまちなかのまちづくりが必要なの？ P4-P7
- 3. まちなかの様子 P8-P9
- 4. 多治見のまちはこうなる
 - ①全体ビジョン P10-P11
 - ①駅周辺 P14-P15
 - ②駅前・ながせ P16-P17
 - ③本町オリベストリート P18-P19
 - ④銀座・小路町・広小路 P20-P21
 - ⑤土岐川・回遊・インバウンド P22-P23
- 5. だれでもできるまちをよくするアクションリスト P26-P27
- 6. まちの風景（写真集） P28-P29
- 7. この本をつくるチームとか P30-P31
- 8. 裏表紙

2. なぜまちなかのまちづくりが必要なの？

多治見のまちなかは古くから買い物の場所として発展してきました。

駅があり、市役所があり、大きな会社もあり、商店街もあり、広場もあります。

そこでは陶器祭りや、夏祭り。花火大会やイルミネーションなど大きなイベントも開催されます。

通学の途中の寄り道の場所だったり、初任給でちょっと高価な買い物をしたり、初めて子ども同士でお祭りに行ったりそんな思い出の場所でもあるのではないのでしょうか？

昔を知る人は、商店街は人とぶつかりながら歩いていたと言いますが、今はそうした風景はお祭りの日くらいで、郊外のショッピングセンターやインターネットで買い物をする現在では日常的には見られません。

ですが、ご存知ですか？

多治見のまちなかは楽しいと言ってくれる人が増えています。

ここ数年、ながせ通りや本町オリベストリートを歩く人の数が倍増しています。

多治見ビジネスプランコンテストでグランプリに輝いた人が、素敵なお店をやっていて、県外からもたくさんの方が来ています。

昔を懐かしんで、昔に戻ることを、本当は、誰も望んでいません。

もっともっと新しい、未来のまちのあり方があるはずです。

他のどこのまちとも違う、多治見らしいまち。

そんなまちを、みんなで描きたい。

楽しく暮らせる多治見のために

手を取り合い、知恵を出し合い、一人一人がまちづくりに取り組むことが大切です。

ある日の市役所では多治見の市長さんとやきもの会社の井澤さん、商店街会長の玉木さん、まちづくり会社の小口さんがここ数年のまちづくりについて対談をしていました。



市長さん：

駅づくりには力を入れてきました。多治見のタイルが壁や床にもあって、さらに人間国宝のやきものも飾られています。駅前、再開発事業でマンションやホテル、ここにも多治見のタイルや、やきものがたくさん使われています。そんな駅を起点として、駅前、ながせ、土岐川、そして本町オリベストリート。まちの活性化のきっかけを作ったのが生まれも育ちも多治見じゃない人がやって、そこに多治見で生まれ育った人も「よし、やろう！」となって盛り上がってきました。そんな起点づくりやきっかけづくりによって、そのあとが続くのです。



写真はイメージです

井澤さん：

セラミックバレー美濃という御旗のもとに地域の資産に気づき、まちをよくする動きが出てきている。行政と民間、DMOの連携の良さも、チャレンジのしやすさで、良い人、良いもの、良いことが育つ環境ができてきた。

玉木さん：

ここ最近で、まちを楽しくするために手を組める人が増えた。

タジコンがきっかけで新町ビルができて、その魅力で次のイリゼやCHIC...！ができて。土岐川を挟んでぐるっと回れるようなところにそんないい店ができた。

タジコンのおかげで応援しようという空気がまちにより増えたように思える。コロナ禍ではあったけど、イベントを何とかやろうという前向きな動きがあったりと、一つのまちの転機であったとも思う。



小口さん：

まちづくりの仕事が忙しくなっていることこそ、まちに活気が出てきたこと。

いろんな巻き込みや巻き込まれが増えている！



写真はイメージです

玉木さん：

今後はお茶と美濃焼の文化の発信をしたい。おもてなしの心で、いかに多治見を楽しんで、気持ちよく過ごしてもらえるか。楽しいことをするためには自分たちが楽しめることをやっていく。

新しい人がどんどん加わるようになるといい。

井澤さん：

ART&EAT！芸術文化と食文化の街になることをビジョンに街のデザインを考えていきたい。世界に憧れられるまちになると確信している。

小口さん：

行こうと思う楽しい目的を増やすことが大事。そうするのは人なので、作れる人やチームが更に育つといい。多治見を表現するような面白いホテルをつくりたい！

市長さん：

オリベストリートの活性化がキーで、ここには海外の富裕層も遊びに来るように。

まちづくりは成功事例をどんどん積み重ねてチームとして自信をつけていきます。

失敗はOKというのも、このまちの良さではないでしょうか。しっかり声を聴いてやっていけばうまくいく、そんなポテンシャルになっているのが今の多治見だから、どんどんチャレンジをして欲しいです！

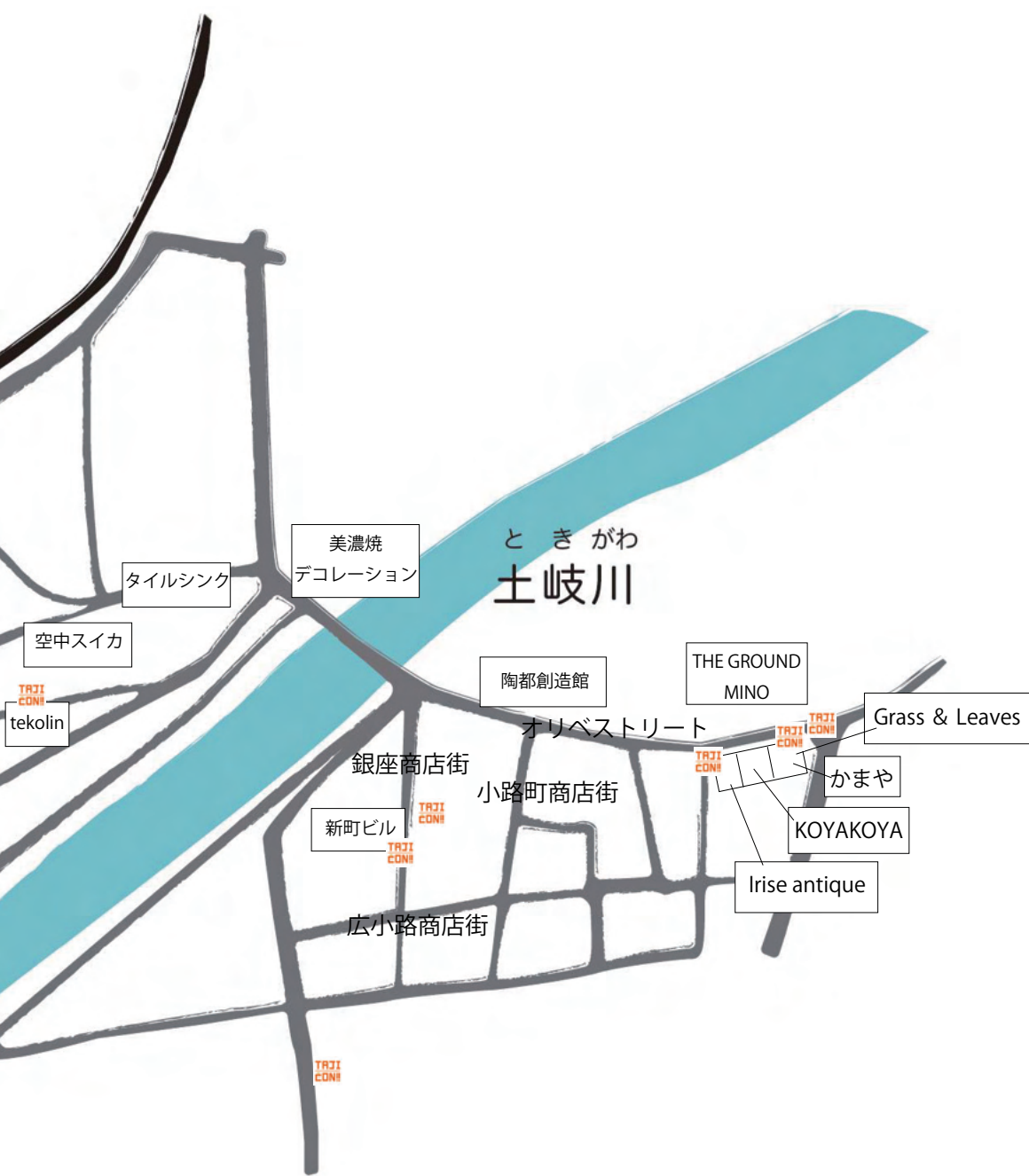
カッコいい多治見をみんなで作りましょう！

日夜、多治見のまちを想う人たちの白熱した談義はいつまでも止むことなく続いたのでした。

3. まちなかの様子

- ①新町ビル ②多治見駅前再開発
- ③東濃信用金庫本店建て替え ④ヒラクビル
- ⑤虎溪用水広場イベント ⑥美濃焼デコレーション
- ⑦創造館 ⑧パンと器と ⑨陶器まつり春秋
- ⑩情報誌 A2 ⑪レンタサイクル
- ⑫暑さ対策スイカ ⑬オリベストリート
- ⑭TAJICON 関係の outlet
(新町ビル、Irise antique、tekolin、かまや、CHIC...!)

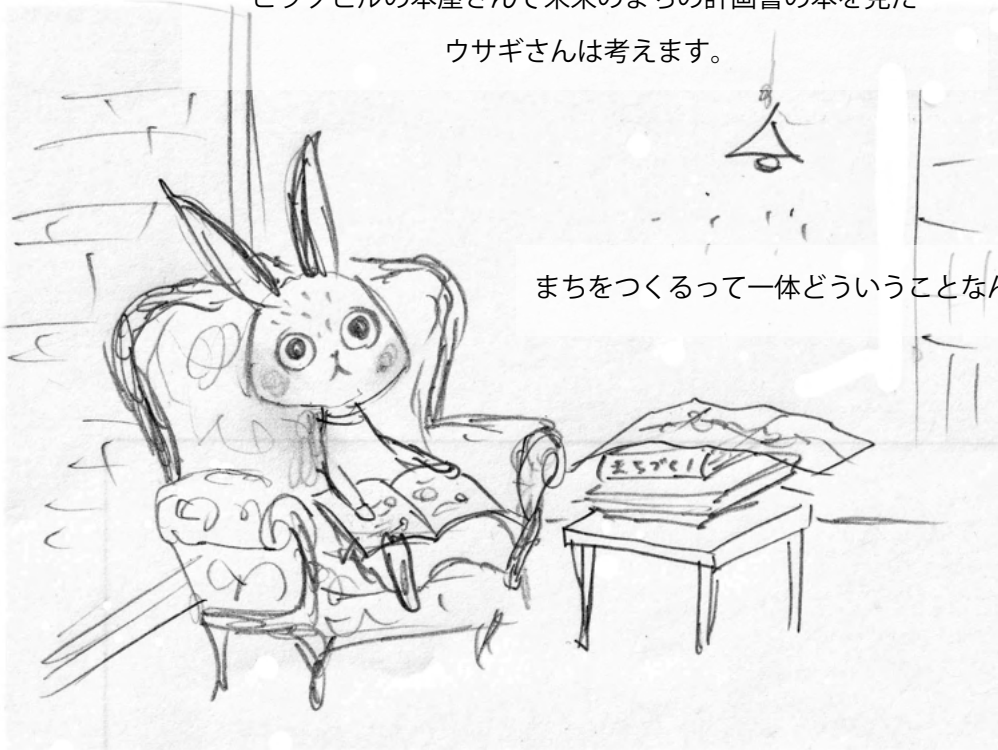




今の多治見中心市街地のエリアマップ

ヒラクビルの本屋さんで未来のまちの計画書の本を見た

ウサギさんは考えます。



まちをつくるって一体どういうことなんだろう？

よーし！このマップを持ってまちなかを歩いてみよう！

そう思い立ったウサギさんは本にのっていたマップを片手に
ビルの階段を駆けおりました。



マップを手にいざ、まちを巡ろうとビルを出たら
あら不思議。

そこは未来のまちになっていたのです。



いつもとなんだか違ったまちの様子が広がります。

驚きつつもひとまず、駅に向かってみることにしました。

4. 多治見のまちはこうなる たじみのみらいのまち ー全体ビジョンー

- ・ 駅南北～オリベストリートのエリアで様々なイベントが開催
- ・ 駅前再開発との繋がり ・ ホテルやゲストハウスができる
- ・ 「見て楽しい」商店街のショーウィンドウ ・ 緑化が進む
- ・ 新しいテナント（商業施設）が増える
- ・ 車両通行止め、歩行者道路に ・ 土岐川沿いにカフェやホテルが建ち並ぶ
- ・ 野外で会議や仕事をしている人の姿がある
- ・ 商店街のシャッターが全て開く ・ まちなかにシアターができる
- ・ 観光集客の拠点ができる
- ・ 自由にいつでも誰でも使える椅子やテーブルなどが
各商店街に置かれる (street faniture)



多治見の商店街のリーダー

駅南の再開発も終わりハード面が特に整ってきました。
まちなかに住んでいる人も商売をしている人も同じモチベーションで活動しておもてなしの心をもっています！日本一の笑顔で迎える準備ができていますよ。



やきもの文化の仕掛け人

アーティストやクラフトマンが世界中から集まり、その作品を見に観光客が集まっています。家でもお店でも本物の美濃焼を普段から使っていて、小さいころから目が養われるように、学校で学べない勉強ができる街にしたいですね。



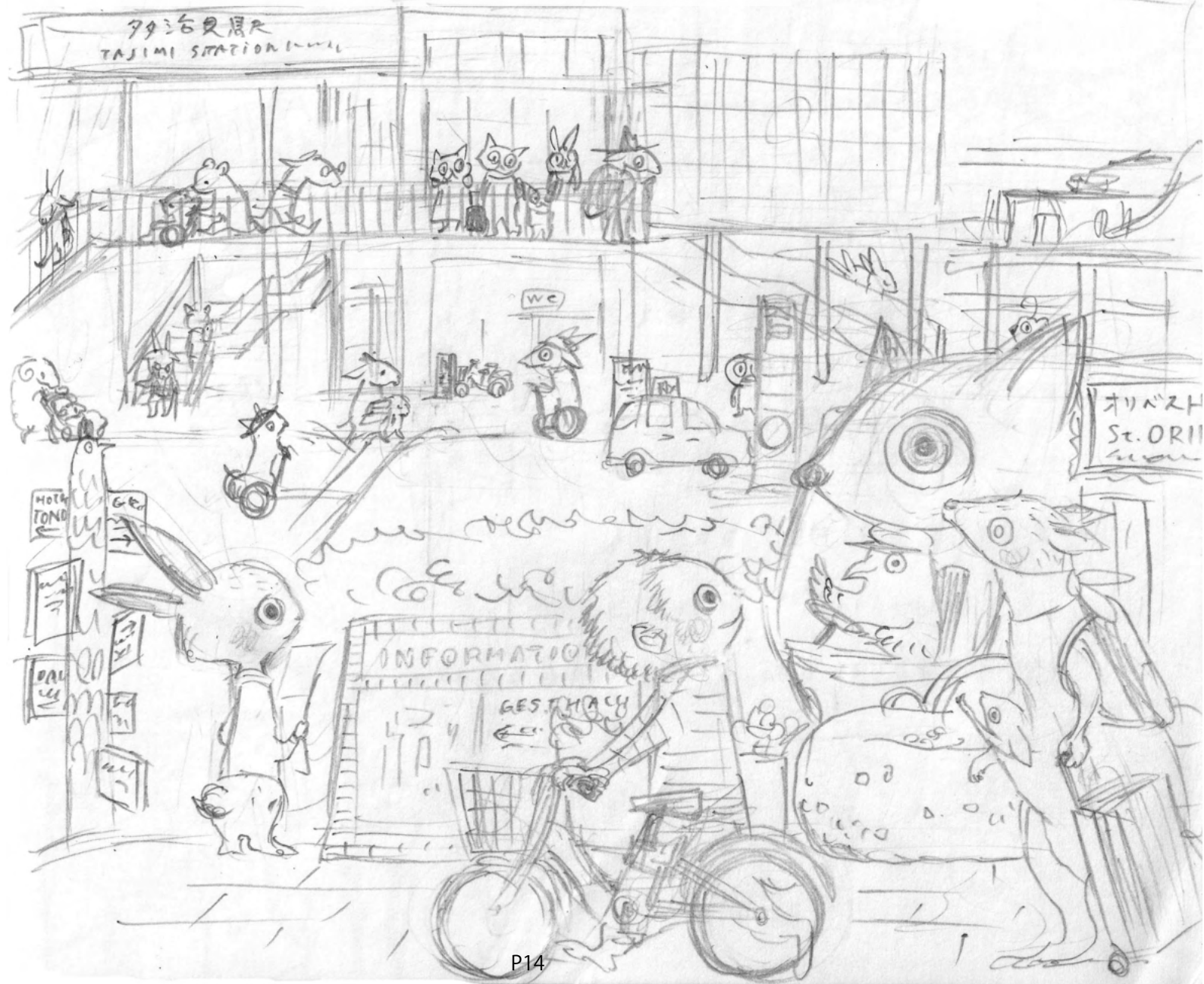
未来の多治見中心市街地のエリアマップ

まずは駅に向かったウサギさんは、さっきまではなかったはずのあるものを見つけます。

バスの駅名の外国語表記に気軽に乗れるレンタル自転車。

いろんな人がいろんな交通手段を好きに選んでいます。

「え！すごい。これはとっても便利だな！何に乗ろうかな。」



4. 多治見のまちはこうなる たじみのみらいのまち ー多治見駅周辺ー



多治見駅駅長さん

拠点がよければ人が集まり、そこをスタート地点にまちなかに人が出る。多治見駅はそんな拠点で、人も情報も発信される場所にしていきます。駅員もまちの人と一緒に笑顔でいるような多治見の顔として活躍します。



駅南商業施設の代表

駅南地区は生活に便利な機能が揃っていてプラティ多治見がそのうちの商業の部分を担当していきます。またバスなどの公共交通機関も活発に往来があり車でなくとも来やすいエリアになっているといいですね。

新しいお店と商店街と一緒に何かしている！
虎渓用水広場で様々なイベントができています！
駅北も駅南もバスやタクシーがたくさん来ていて便利！
駅の案内所が強化されて各所へ行きやすくなっている！
冬はイルミネーションでとってもきれい！

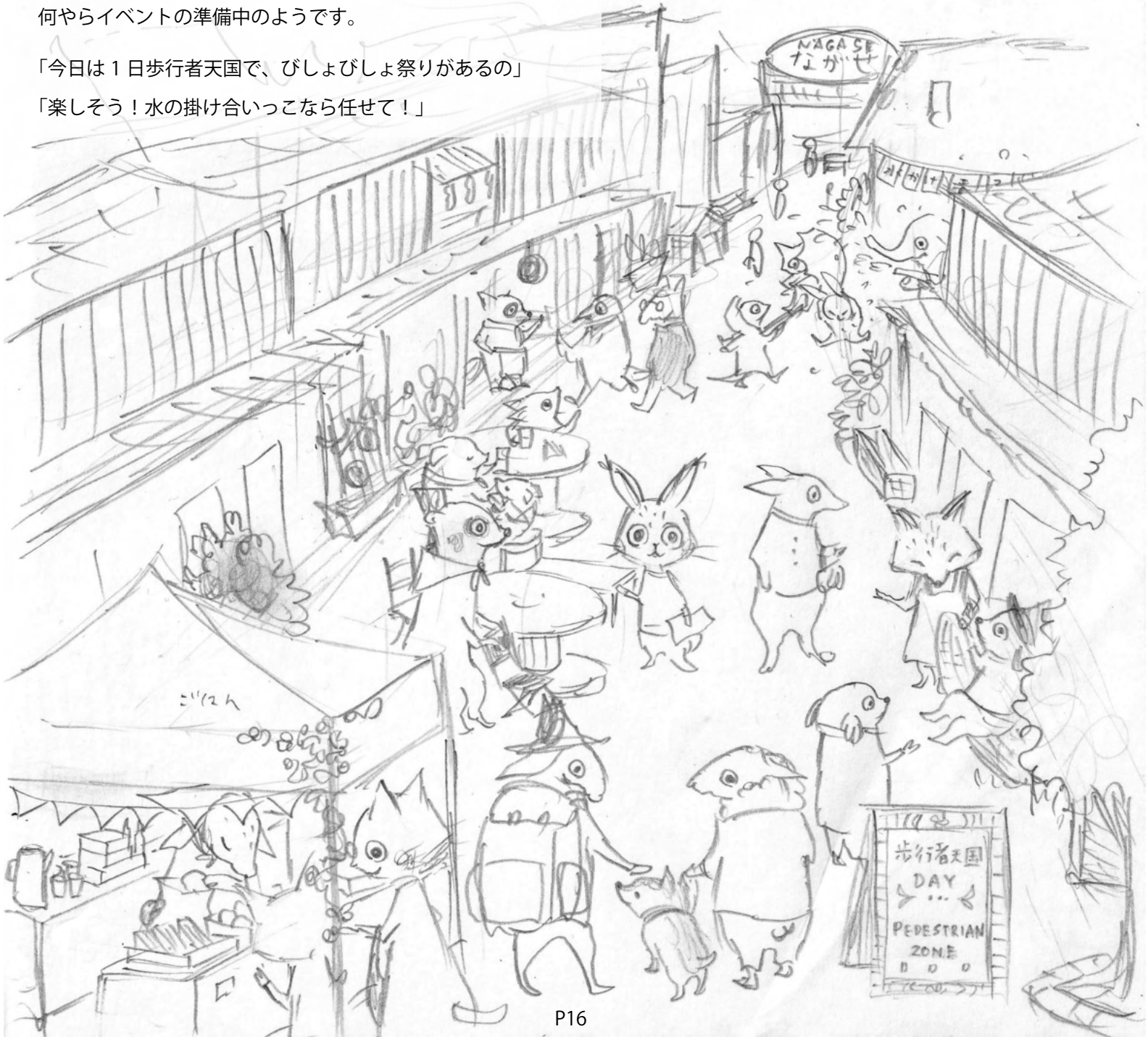
駅から歩くと、ながせ商店街の道はわいわい賑やか楽しそう。

テーブルを外に並べて、水を入れたバケツを配っています。

何やらイベントの準備中のようです。

「今日は1日歩行者天国で、びしょびしょ祭りがあるの」

「楽しそう！水の掛け合いっこなら任せて！」



4. 多治見のまちはこうなる たじみのみらいのまち 一駅前・ながせ商店街一



駅前ビューティーママ

昔に比べて歩いてお店に来る人が増えています。月に1回ぐらい商店街が歩行者天国になっていると面白いと思います。歩いている人がちょっと立ち止まりたくなる。そんなまちになると素敵ですね。



ながせのマドンナ

自分のお店だけじゃなくて、「商店街のあの店のあの商品、きっと好きだよ!」とか、「あの人面白い人だよ」とか、商店街の物や人を「つなぐおせっかい」の輪を広げていきたい!



酒屋の看板娘

近くの高校生が立ち寄れるようなお店があり、みんなが通学路にしているといいな。健康についてや歩くことがサポートできるようなお店も並んでいるのもいいかも。

お店を出したい人が増えている!

さかさま不動産という夢を語るサイトが大盛り上がり!

まちなか社会見学で大人も子どもも楽しそうにまちをめぐっている!

「びしょびしょ祭り」でアツい夏もみんな涼しげ!

伝統的でかついい建物はそのままのオリベストリートには
いろんなお店が立ち並んでいます。すれ違う人の中には和装の人
カメラやマップを手に持った観光客の人たちもいっぱい。
赤い傘の下でお抹茶を楽しむ姿も。

「海外からの観光の人かな？ええっと…Hello?」



4. 多治見のまちはこうなる

たじみのみらいのまち 一本町オリベストリート



世界を翔けるアンティーク
ショップ店主

住む方にとって便利で安心して住める街、訪れる方にとって刺激的で新たな体験が出来る街になる様にもとからある産業や人材を生かしつつ賑わいを生み出していきたいです。まちの取り組みに興味を持つ人も増やしたいですね。



変幻自在の窯ニスト

新しい拠点ができることで、やきものやお茶など地域にある文化や習慣を伝えていきたいです。「良い街に住んでいるんだなあ」って感じて欲しいと思います。ぜひ、かまやに遊びに来てください！



料亭の女将さん

新しいお店も昔からのお店も、住民もみな優しく、オリベストリートの景観のように一体感があるまちでありたいですね。常に気持ちに余裕を持って、自分がしてもらって嬉しいことをする。それが多治見の良いところです。

着物で歩く人が増えている！「大茶会」に行くのかな？

新しい拠点ができて観光客がたくさん！

オリベストリートの景色を楽しむ人が楽しそうに歩いている！

昔ながらの蔵は変わらず多治見らしさを伝えている！

細い路地を入るとそこはちょっぴりディープなエリアが広がります。住んでいる人も、ここが仕事場の人もさまざまな人が行き交います。

八百屋さんの元気な声に路上ライブも聞こえて来るにぎやかな通りには、シャッターを開けてお店の改装をしている様子も発見しました。

「いろんな人が作業をしているみたい。

陶器？運んでいるのかな？手伝いますよー！」



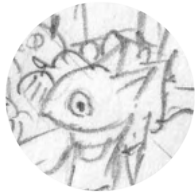
4. 多治見のまちはこうなる

たじみのみらいのまち 一銀座・小路町・広小路一



うなぎやの若大将

広小路エリアの古き良き木造建築が増え、懐かしくも新しいエリアにしていきたい。ペットにとっても暮らしやすく、動物と遊べたり食事もできるような環境があるといいなあ。



おしゃれ文房具カフェ店主

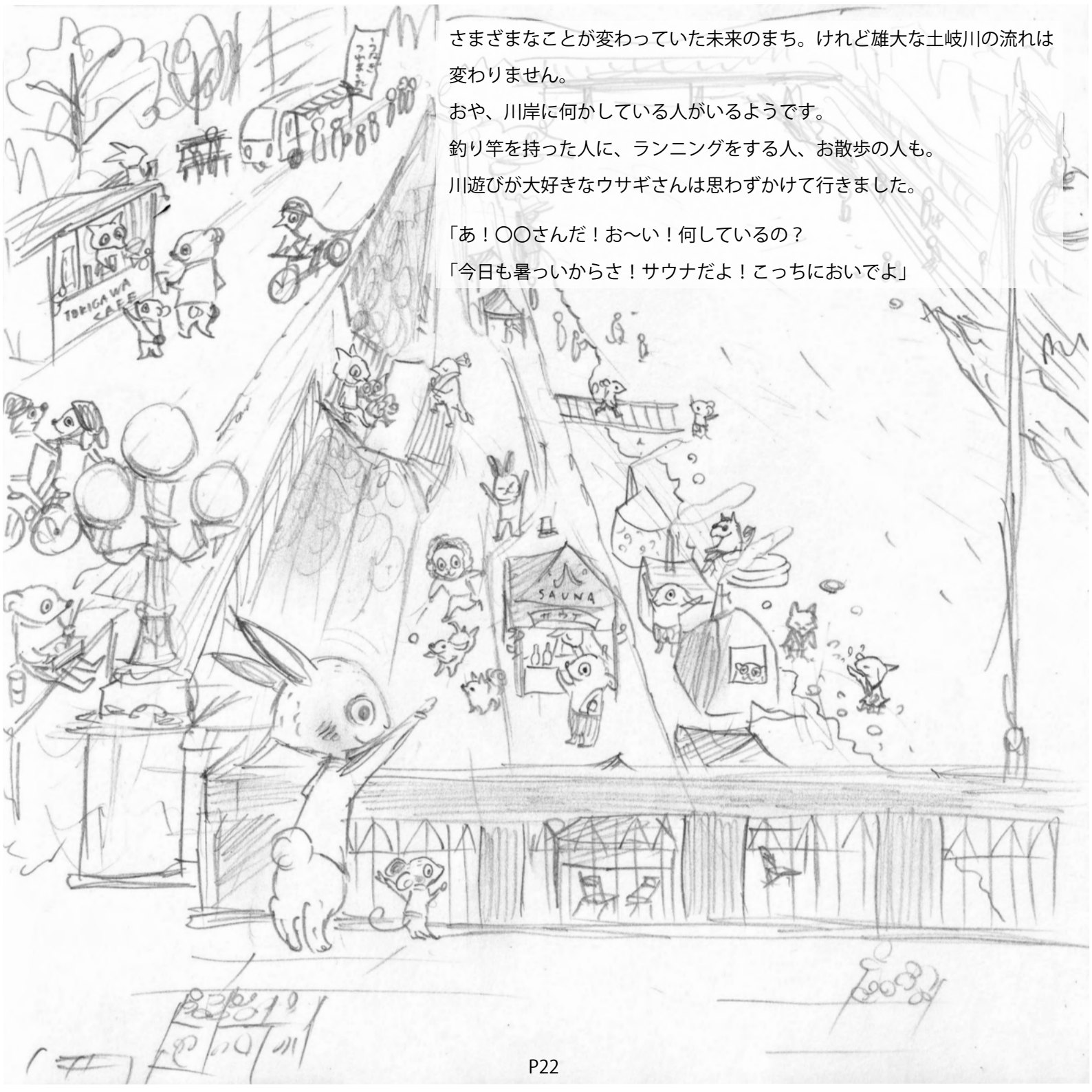
このエリアには渋めのビルが結構あります。それらを活用して味のある映える雰囲気を作っていきたい。個々でもみんな頑張ってるエリアだから、みんなでDIYして繋がっていききたいね。



初代タジコングランプリスト

陶芸作家やアーティスト、窯業に関わる人、やきものが好きな人にとって暮らすことが面白い街になるように、住む場所や制作環境の選択肢と交流が広がるようにしていきたいです。

古い建物がきれいになって生まれ変わってる！
やきものの作家さんが展示会をまちなかでやっている！
不思議な細道の銀座センターが夜何だかにぎやかだ！
動物と遊べる場所がある！



さまざまなことが変わっていた未来のまち。けれど雄大な土岐川の流りは変わりません。

おや、川岸に何かしている人がいるようです。

釣り竿を持った人に、ランニングをする人、お散歩の人も。

川遊びが大好きなウサギさんは思わずかけて行きました。

「あ！〇〇さんだ！お～い！何しているの？」

「今日も暑っいからさ！サウナだよ！こっちにおいでよ」

4. 多治見のまちはこうなる

たじみのみらいのまち 一土岐川・インバウンド・回遊一



多治見でやきものを
学ぶ海外意匠研生

作家は結構シャイ。みんなからもどんどんやきものを作る作家情報を発信してほしいな。海外から多治見に戻ってきたときに作家がすぐ使える貸し工房があると嬉しい。



川を愛する旅人

若い世代の活躍できる場、楽しめる場をクリエイトしていくまち。そのためにも大人が他業種でも個々同士でも繋がって活動を広げていくことが大事。



安心安全のバス会社
企画担当

目を引くようなデザインのバスで、多治見に点在する自由に乗降できるようになると便利だし楽しそうですね。まちなかのお店で自慢のグルメの食べ歩きできるのも楽しそう！

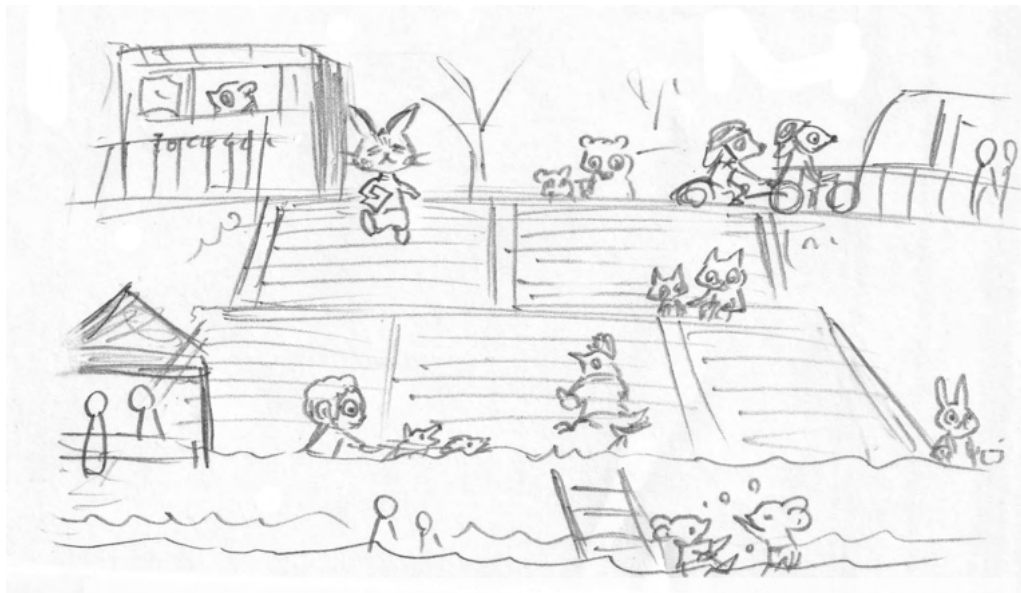
堤防をジョギングする人やサイクリングする人がいっぱい！

外国から来た人を道案内しているのかな？

気持ちよさそうに犬の散歩をしている人がいる！

川辺でサウナに入って川に飛び込むのも楽しそう！

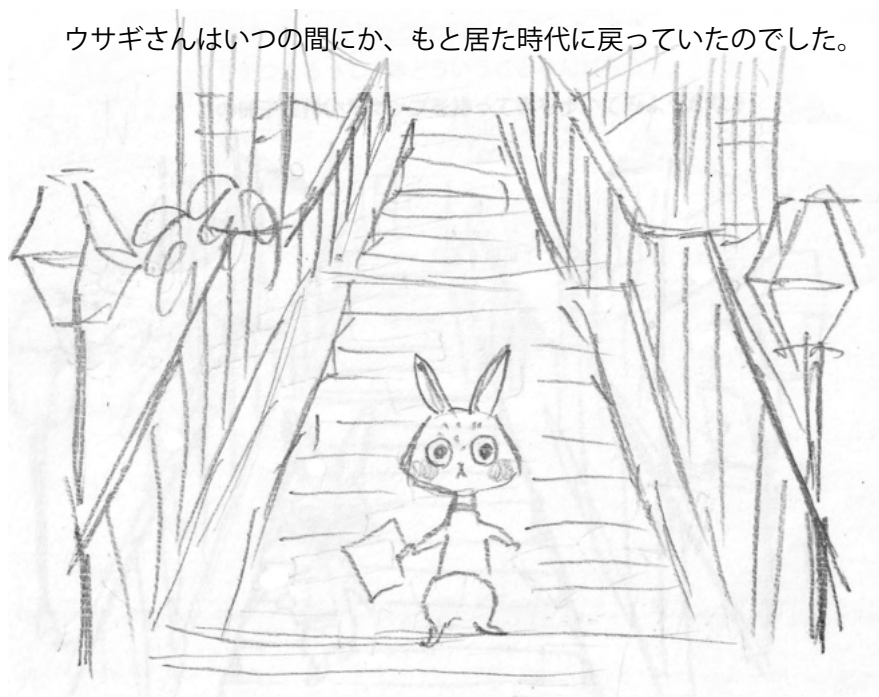
ウサギさんはとっても楽しくなって土岐川の河川敷にいる
みんなのもとへと堤防の階段を走って降りて行きました。

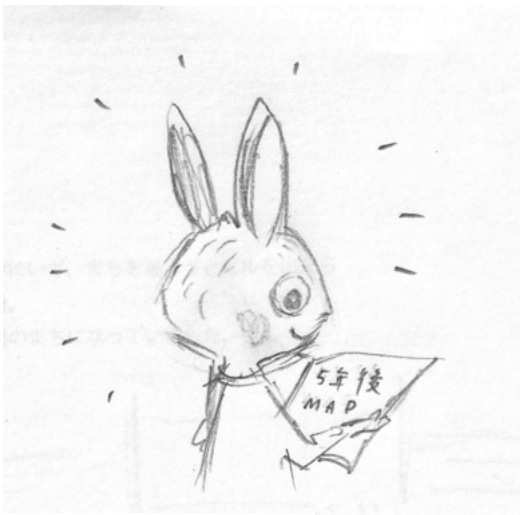


あれれ?! ここは!

降り着いたのはヒラクビルの階段。

ウサギさんはいつの間にか、もと居た時代に戻っていたのです。





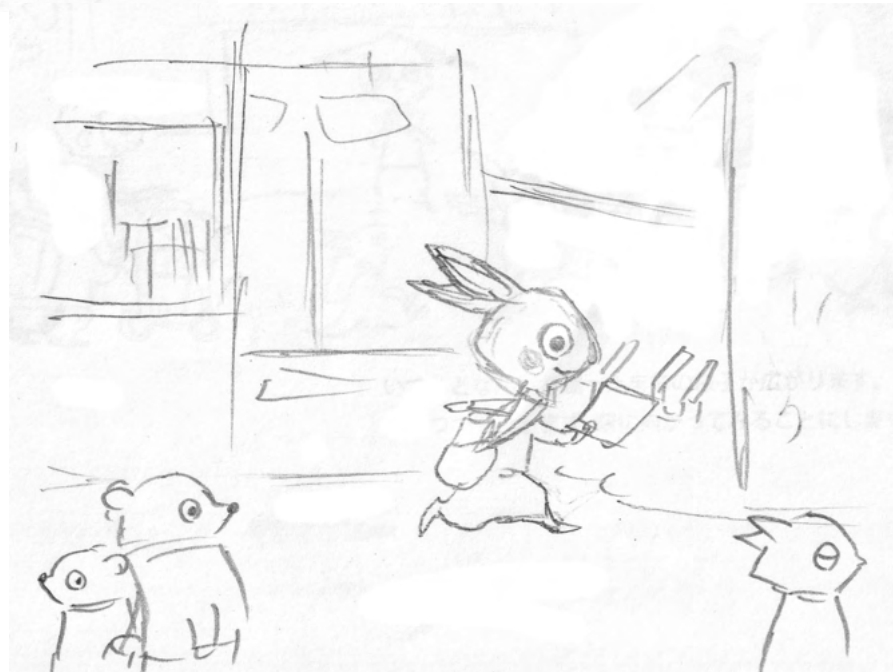
すてきなまちだったな。

みんなが楽しそうで。わくわくワイワイ賑やかだった。

あんなまちに住みたいな。

今からできることって何があるんだろう？

よし！さっそくリストを作るぞー！



未来のまちを見て巡って、いろいろな変化を知ったウサギさんは
できることから少しずつ行動してゆこうと心に決めるのです。

さあ、これからすてきなまちにするには一体どうしていきましょうか？

なにか行動をすればウサギさんが見た未来のまち、いつか見られる日がくるかもしれませんね。

5. 誰でもできる まちをよくするアクションリスト

住みよいまちにしよう

- ゴミのないまちを目指そう
- 挨拶しよう
- 挨拶をされたらそれ以上に大きい声で返そう
- バスに乗ってでかけよう
- 堤防をジョギングしてみよう
- レンタサイクルを使おう
- 笑顔で暮らそう
- ゴーヤやスイカのグリーンカーテンを楽しもう
- 暑さ対策をしよう
- 困っている人を助けよう

子どもも楽しいまちにしよう

- 虎渓用水広場に行こう
- 子どもと一緒にまちへ行こう
- 多治見まつりのパレードに出てみよう
- 土岐川で水切りをしよう
- スポーツをしよう
- 子ども目線で過ごそう
- 駅周辺のイルミネーションを見よう
- うながっぱを見つけよう
- DIY してみよう
- 子どもに陶芸体験を教えよう

多治見らしい暮らしを楽しもう

- 橋を巡ろう
- 地域の行事に参加しよう
- 東濃弁を使ってみやあ
- うなぎを食べよう
- 陶芸体験をしよう
- 美濃焼を使おう
- 美濃焼を誰かにあげよう
- タイルシンクで手を洗おう
- 祭りのときは帰ってこようね
- 多治見で採れたもので料理しよう
- まちなかでやきものを見つけよう
- まちなかでタイルを見つけよう
- 多治見を離れても多治見の話をしよう
- やきものオブジェを大事にしよう

商店街を楽しくしよう

- 商店街に出かけよう
- まちなかで買い物しよう
- かつぱ市、銀ブラ市に行ってみよう
- お店の人と話してみよう
- お気に入りの店を見つけよう
- 雑誌、SNS で情報を仕入れよう
- まちなか情報誌 A2 を見ってみよう
- 良かった体験を家族や友達に教えてあげよう
- イベントに出かけてみよう
- ワークショップやまちゼミに参加しよう
- やってみたいことを相談しよう
- 前向きにまちを語ろう
- オシャレしてまちを歩こう
- 誰かのチャレンジを応援しよう
- まちなかの写真を撮ろう
- SNS に多治見の写真を投稿しよう

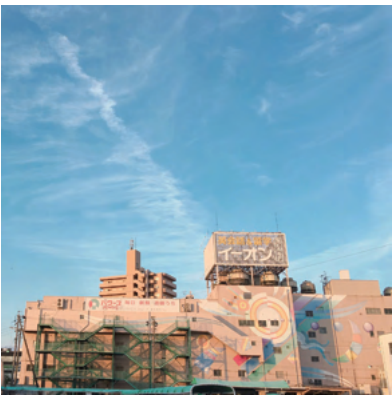
もっと観光に来てもらおう

- オリベストリートのことをもっと知ろう
- 市外、県外のお友達と多治見で遊ぼう
- レンタサイクルのツアーに参加してみよう
- 美濃焼祭に行こう
- 陶器祭りに行こう
- 商店街の夜祭に行こう
- おすすめのお店を紹介しよう
- 出かけるときはお土産を持とう
- 歴史を学ぼう
- 外国の方に道案内しよう
- 外国語を学ぼう

6. まちの風景写真集



6. まちの風景写真集



7. この本をつくるチーム

この冊子をつくるときに関わった皆さんです。

やれたらいいこと、あったらいいこと、たくさんのアイデアを出していただきました。

(お名前はすべて 50 音順・敬称略)

多治見市中心市街地活性化協議会

井澤 秀哉 株式会社井澤コーポレーション

小木曾 利之 多治見市商店街連合会

笠井 政志 株式会社エクシイズ

小林 彩子 IRISE antique

佐藤 円一郎 株式会社両藤舎

鈴木 耕二 有限会社鈴研・陶業 / 七窯社 鈴木タイル店

玉木 秀典 多治見ながせ商店街

中島 世志人 エンタメスーパーマルナカストアー

二橋 直之 CHIC...! YOUNG CLOTHING STORE

花山 和也 新町ビル

水野 雅文 地想

商店街・空き店舗部会

伊藤 牧子 とうしん本町支店

小木曾 利之 多治見市商店街連合会

木野村 匡 株式会社東文堂本店

玉木 秀典 多治見ながせ商店街

花山 和也 株式会社新町ビル

渡辺 直美 tekolin

7. この本をつくるチーム

観光・回遊部会

今川 祐子 市之倉さかづき美術館

小林 綾子 IRISE antique

木全 靖陸 画家

鈴木 耕二 有限会社鈴研・陶業 / 七窯社 鈴木タイル店

水野 雅文 地想

村手 洋之 魚関

暑さ対策・居住部会

増田 悠作 株式会社エネファント

森 裕子 syoku de smile

辻 真一 中部電力パワーグリッド株式会社

増田 武 株式会社伊藤園東濃支店

山本 博子 特定非営利活動法人ママズカフェ

協議会、部会にはすべて多治見市役所とたじみDMOが事務局として参加しました。

イラスト 田之上尚子

テキスト たじみDMO

デザイン 鈴木真衣

サポート 白木彩智

発行 多治見市

制作 たじみDMO

